

平成27年度 県立学校における「地域と共にある学校づくり」の取組概要

27

磯城野高等学校

<平成27年度の取組>

	取組名	活動時間	連携先	取組への生徒の関わり方	取組の概要	実施の時期
1	ホリデーイン 磯城野	⑤ 特別活動（学校行事）	g. 地元自治会 b. 小学校・中学校 e. 福祉施設 m. PTA	⑤ 教職員等が計画を決定した	磯城野高校の学習内容を広く県民の方々に知っていただくために開催。各科・部活動の作品・発表、授業風景展示・実習演示、農場見学、農業機械展示、体験工房、生産物収穫・販売、中学生の体験入学、同窓会総会、進路相談会、磯城野カフェ、直売所「しきの 彩」などのイベントを実施した。	11月7日
2	直売所「しきの 彩」	農業クラブ・家庭クラブ活動	g. 地元自治会 m. PTA	① 生徒が主体的に計画し、教職員等と一緒に決定した	模擬株式会社化により、6次産業（生産→商品化→販売）の実際を学びながら、地域貢献を実践する。安全で高品質な農産物・加工品、オリジナル商品の販売活動を展開し、看板・のぼり・ユニフォーム・広告等の工夫により、農業系スペシャリストの資質のひとつである「起業家能力」を身につけることを目的とする。	毎週火曜日 15:40～ 16:00 三者懇談日
3	野菜の教室	① 各教科の授業	b. 小学校・中学校 (小学校のみ)	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	児童が野菜栽培の実際を見学して、「栽培方法」や「野菜の形態」の学びから知的な気付きを得るとともに、本校生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成することを目的とする。本校生徒が、ナス科野菜・ウリ科野菜・大和野菜を題材とした「野菜の教室プログラム」により指導した。	10月 11月 (3回)
4	ふれあい動物教室	① 各教科の授業	a. 保育園・幼稚園 b. 小学校・中学校 (小学校のみ)	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	幼児、児童が動物とふれあい、「動物の温かさ」や「命の大切さ」を学ぶ機会を提供すると共に、本校生徒の学習の成果の発表の場とし、表現力やコミュニケーション能力を育成することを目的とする。本校生徒が、社会動物（ウサギ・ハムスター・モルモット）や産業動物（ニワトリ・ブタ・ヒツジ）を活用し、指導した。	10月 11月 (4回)
5	ボランティア「2015 クリーンアップならキャンペーン」	④ 特別活動（生徒会活動） 農業クラブ・家庭クラブ活動	i. 青少年健全育成団体 g. 地元自治会	③ 教職員等が計画を提案し、生徒と一緒に決定した	生徒会本部、生徒各団体、整備委員会、一般生徒が集い、ボランティア活動を通して、「ごみを捨てない」、「気づけば拾う」ことや、地域を愛し、心豊かに暮らすとともに、あらためて美しい地域づくりを意識する良い機会とし、地域の各団体とともに活動した。	9月6日
6	ボランティア（福祉・保育）	① 各教科の授業	a. 保育園・幼稚園 e. 福祉施設	⑤ 教職員等が計画を決定した	本校生徒が、福祉や保育に関する教科・科目で学んだことを生かし、高齢者施設や保育園などに出向いて、発表を行ったり、共に活動を行ったりした。	4・5月 7・8月 11・12月 (10回)